

～ 子供に関わるすべての人へ～  
家庭教育ニュースレター

# 家族の絆

2023年 秋 = Vol.65 =

## Contents .....

- インクルーシブ教育って何？
- いつから？なにかから？親子の性教育
- 西宮市立図書館から本の紹介
- 「コミュニティ・スクール」の紹介



バックナンバーはこちらからご覧いただけます↑

発行／西宮市教育委員会 問合せ先／地域学校協働課 TEL0798-35-3868

## インクルーシブ教育って何？

皆さんは「インクルーシブ教育」という言葉をご存じでしょうか。「インクルーシブ」とは、「包摂的」「包み込む」という意味ですが、これだけでは具体的な内容をイメージするのは難しいと思います。今回は、学校現場における「インクルーシブ教育」がどのようなものであるか、武庫川女子大学の宇野里砂さんにお話をお聞きしました。

2015年に国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するために「持続可能な開発目標SDGs 17のゴール」が設定されました<sup>1)</sup>。その内、第4のゴール（目標）が「質の高い教育をみんなに」です。この「みんなのための教育」が「インクルーシブ教育」です。「みんな」とは、障がいのある・ないに限らず、性的自認や家庭環境、国籍などの多数派・少数派など、あらゆる多様性のある人全てです。

「インクルーシブ」とは「包摂的」「包み込む」という意味です。UNESCO「特別ニーズ教育世界会議 サラマンカ声明（1994年）」<sup>2)</sup>にあるように、全ての子どもたちはそれぞれに独自の特性や興味、能力、学習ニーズを持っています。地域の学校において、特性やニーズの幅広い多様性に対応した包摂的な教育を実現できれば、よりたくさん子どもたちに効果的な教育を提供し、教育制度全体の効率化を得られるだけでなく、幼少期からお互いを認め合い育ち合い、差別的態度をなくし、包摂的な社会を構築できます。

子どもたちの感性は柔軟です。年齢や発達レベルに幅がある子ども集団において、初めはどう関わっていいかわからずにいる子どもたちも、大人が声かけや関わりを「やってみせる」と、子ども自ら声をかけたり関わるようになり、「かっこいい」「すごい」と認め合う姿が見られます。子どもも大人も、関わり合わなければ、相手を知ることはできません。言葉でも視線や表情でも、積極的あるいは相手を思いやりながらゆっくりと、コミュニケーションをとることが大切です。包摂的な教育・保育環境において、子どもたちは相手の本質を見て、自他の価値観の違いや重なりに気づき、全ての人間が支え合って生きていることを知るようになります。

もうひとつ大切なのは「個別の教育的ニーズ」です。文部科学省は「インクルーシブ教育システムにおいては、同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、

個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要<sup>3)</sup>としています。個別の教育的ニーズに応じた特別支援教育を実現するために、通常の学級に加えて、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校と、多様な学びの場があり、障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒が学校教育の一環として学びや活動を共にする「交流及び共同学習」があります。個別の教育的ニーズのある子ども本人・家族が学びの場を選択できることが重要です。個別の教育的ニーズに応えながら包摂的な教育環境を整え、幼少期から自他を認め合う社会を形成していくことは、容易ではありませんが、為すべき課題です。



- (1) 外務省ホームページ  
[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs\\_gaiyou\\_202305.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202305.pdf)
- (2) UNESCOホームページ  
<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000098427>
- (3) 「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）概要」文部科学省ホームページ  
[https://www.next.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/044/attach/1321668.htm](https://www.next.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/044/attach/1321668.htm)

うの りさ  
**宇野 里砂**

武庫川女子大学教育学部教育学科 准教授、  
小児科医師、医学博士



公立児童発達支援センター小児科での発達専門診療職務後、2014年から現職で特別支援教育科目・保育士課程科目、障がいのある学生支援室専門員を担当。豊中市立児童発達センターや豊中市・吹田市・寝屋川市の保健センターでの発達相談診療業務、支援学校嘱託医、医療的ケア児に関する教育体制支援のための小・中学校訪問事業、保育所・幼稚園等への支援等を兼務。  
大阪小児科医会理事、茨木市障害児保育運営委員会委員、八尾市障害児保育審議会委員、大阪府立藤井寺支援学校学校運営協議会副会長、など。  
著書：発達障害事典（日本LD学会編）など。

# いつから？なにから？親子の性教育

保護者の皆さんの中には、突然お子さんから「性に関する質問」を受けて慌ててしまい、上手く受け答えできなかった経験のある方もいるのではないのでしょうか。そうならないようにどうすれば良いか、今回は、【とにかく明るい性教育「パンツの教室」協会】の「のじま なみ」さんに、親子での性教育の進め方についてお聞きしました。

子育てをしていると、必ずと言っていいほどぶつかるのが性の壁。

## ■幼少期なら

- 赤ちゃんはどこから生まれるの？と聞かれてドキッとした！
- お母さんや先生のおっぱいを触ってしまう子どもの行動をやめさせたい

## ■小学校に入ると

- ネットでアダルトサイトを検索していた！
- 思春期を迎えるにあたって、生理や精通をどう伝えたい？

## ■中高生の思春期になると

- 恋愛、性交渉、避妊について子どもに伝えたいけど、どう伝えたいかわからない



—◇————◇————◇————◇————

保護者自身も親から教わったことのない性教育について、自信をもって我が子に伝えられる方は多くはないでしょう。

内閣府が行った調査（※「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」）によれば、小学生で4割、中学生では7割、高校生になると9割以上の子どもたちがスマホを持ち、小学生のネット利用時間も平均で2時間を超える調査結果が出ています。

昔より簡単にアクセスできるようになったネットの世界には、役に立つ情報、わくわくする娯楽、将来に生かせる学び多き情報が多数存在しているのも事実ですが、アダルト動画や暴力的な表現など、子どもたちから遠ざけておきたいものも含まれています。保護者がどんなに対策をしても、制限出来ない時代になりました。

動画の情報量は文字の5,000倍ともいわれており、良くも悪くも、現代の子ども達は保護者の時代に比べ、より早く圧倒的な情報を得ているのです。

だからこそ、性を避けるのではなく、上手に子どもたちがインターネットを使えるように、保護者は学校などの教育機関と連携しながら、子どもたちへの正しい性教育を伝えられるといいですね！

とはいっても、性教育はいつから・どこから始めたらいいの!?と思われる方のために、まず性教育のスタート時期をお伝えします。親の言葉が理解できる3歳頃から、スタートしていきましょう！

「口と、胸と、性器と、おしり。ここは人に見せても触らせてもいけない『水着ゾーン<sup>®</sup>』だよ！」

まずは水着ゾーン<sup>®</sup>について教えてください。小さな頃から生活の中で習慣づけて伝えていくと、「自分の体は大事なもの、相手の体も大事なもの！」という価値観を子どもにプレゼントすることが可能です！

そうすることで幼少期の子どもが、知らず知らずに大人についていき、体を触られたり、下着姿の写真を撮られたりするような、被害者になることを防げます。また、裸で走り回ったり、誰かに無理やりキスをしたり、ハグをしたりするような、うっかり加害者になることも防ぐことができます。

性教育は百利あって一害なし！

ただ、そうはいっても保護者が我が子に性教育をする際に、気になるのが子どもの反応ではないでしょうか。

実は、子どもの反応は成長段階によって様々。あらかじめ、それを理解しておけば、思い通りの反応が返ってこなくても、怯まず伝えられるはずです。以下典型的な反応です。

## ■3～6歳【感動期】

性の話を聞くのが楽しくて仕方がない時期。イヤラシイ性的な意味は無く、ただ気になったことを本当にキラキラした瞳で聴いてくれるので、話しがいがあります。

4～5歳になると「なににに期」から「なんでなんで期」に入り、「赤ちゃんはどこから生まれるの?」「どうして僕は、ママから生まれたのにパパに似ているの?」といった質問をしてくるように。親がドキッとする質問の80%くらいは5歳までに聞いてくるでしょう。こちら楽しみながら答えてあげましょう。

### ■7～9歳【無反応期】

一転して反応が薄くなります。際どい質問を投げてきたと思ったら、こちらが上手い言い回しを考えているうちに興味を失い、ようやく答えられた時には「ふーん」とつれない返事が返ってくることもあります。

でもそれは、保護者の方の伝え方が悪いのではなく、子どもの視野が広がり、興味があちこち移りやすくなっているだけ。本人の気分が乗れば耳を傾ける時期なので、「疑問が生まれたら、また聞いてね」と伝えておきましょう。

### ■10歳以降【キモ、ウザ期】

「キモ」「ウザ」と、親からの性の話を拒絶するようになる時期。アダルトコンテンツなどに触れることもあり、性にまつわる様々な情報をキャッチしたりするようになる時期です。また、それを親に知られることをとても嫌がります。

ただ、「キモい」や「ウザい」という言葉は、こ

の年頃の子どもにとって「わかりました」の意味であることもあります。自立心が芽生え始める時期なので、くどくどと説明しないように心掛けて。

### ■完全なる思春期【ノーサンキュー期】

これまで全く性教育をしてこないご家庭の場合は、親子ともども抵抗感があるはず。そんな時は、性教育の本やマンガの力を借りましょう。ただし、渡しっぱなしでは意味がありません。感想を話し合う努力も忘れずに。

性教育は一日にしてならず。できるところから少しずつスタートして、親子のコミュニケーションを深めていってくださいね。



『水着ゾーン』は株式会社 TerakoyaKids の登録商標です。  
(商標登録第 6192046 号)

## のじま なみ

### とにかく明るい性教育「パンツの教室」 協会代表理事

2018年、とにかく明るい性教育「パンツの教室」協会設立。  
2023年4月時点で、国内外含めインストラクターを250名以上在籍。

「パンツの教室」が開講する講座受講生は、のべ10,000人越え。自身が発行するメールマガジンの読者は、のべ40,000人。行政団体、小中学校等でも講演会活動を実施し、年間10,000人以上を動員。主な書籍に『お母さん!学校では防犯もSEXも避妊も教えてくれませんか!』(辰巳出版)『赤ちゃんはどこからくるの?親子で学ぶはじめての性教育』(幻冬舎)などがある。長崎県出身、3姉妹の母親。



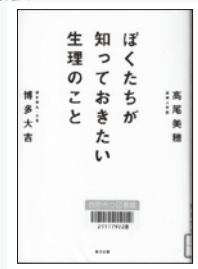
## 西宮市立図書館から本の紹介



### 『ぼくたちが知っておきたい生理のこと』博多大吉/著 高尾美穂/著 辰巳出版

お子さんの年齢によってテーマが変わる家庭の性教育ですが、保護者の方も教わったことのないことを、誤解なく伝えるのは難しいですね。

タレントの博多大吉さんが、男性も生理のことを知っておいたほうが良いと思い、産婦人科医の高尾美穂さんにレクチャーを受けたこの本。生理のメカニズムから女性特有の病気、生理を取巻く社会課題まで、会話形式でわかりやすく話が進みます。ご自身の「知らない」をアップデートして、お子さんとの対話に活かしてみたいかがでしょうか。



### 『子どもたちはみんな多様ななかで学びあう』佐々木サミュエルズ純子/著 アイエス・エヌ

なじみのないカタカナことば、インクルーシブ教育。障害の有無だけではなく、家庭の経済状況や性的自認など、それぞれ違いをもつ子供たちを「できない・時間がかかる子」「気持ちのしんどい子」と分けたりせず、みんなで一緒に学びましょうというのがインクルーシブ教育です。

この本では、ダウン症児ジェイミーくんの学校生活を通して、「私らしい学び」が見えてきます。友人たちのリアルな声もあり、いろんな子がいる教室の様子が伝わってきますよ。



このほかにもテーマに沿った絵本や、マンガ・イラストを多用したものなど、たくさん本があります。図書館に来られた時にはぜひ手に取ってみてください。



# コミュニティ・ スクール

市立の小・中・高等学校、義務教育学校、特別支援学校に  
導入完了しました!!

## 熟議・協働で学校づくり

- ▶ 学校・家庭・地域をつないで、子どもたちの  
学びが広がる機会を提供

## コムスクの魅力と特徴って？

- ▶ 子供だけでなく、学校や地域の活性化にもつながる
- ▶ 地域とのつながりを生かした、幅広い取組ができる

コミュニティ・スクールとは、「地域とともにある学校」のことです。学校・家庭・地域が一体となって目指すべき教育のビジョンを共有し、ともに知恵を出し合い、目標の実現に向けて協働する仕組みのある学校をコミュニティ・スクールと呼びます。

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民、教職員を委員とする「学校運営協議会」が設置され、学校運営の基本的な方針を承認したり、教育活動について意見を出し合います。また、子供たちの成長に必要なことを考え、実際のさまざまな活動につなげています。

西宮市では、令和2年度から段階的にコミュニティ・スクールの導入を始め、令和5年4月に、幼稚園を除く全ての市立学校への導入を完了しました。

今後、コミュニティ・スクールを通して、保護者や地域の皆さんの学校運営への参画や、学校・家庭・地域の協働活動をより一層推進していきます。

